

質問者



植田 喜晴 議員

問 子どもたちが心身共に健康に育つことは親の願いであり社会の責任である。また、負担が大変で子育てを制限することは避けなければならぬ。当町は、小学校入学前の医療費の無料化が実施され、大変喜ばれている。しかし、入学後の医療費も家計への大きな負担である。そこで医療費の無料化を小学校卒業まで拡大し、安心して子育てできる松前町にするよう提起する。

A

入院にかかる医療費の無料化を検討します

Q

小学校卒業までの医療費無料化を！

答

町長

松前町では、少子化対策や子育て支援の充実を図るため、平成20年4月から3歳以上の就学前児童の医療費2割負担を無料化にしています。

国は、子ども手当の増額分について現物支給等の検討を行っています。その財源の有無に係わらず、町として入院にかかる医療費の無料化について検討します。

問

住宅耐震化改修に町の補助制度を

①政府は来年度予算で、今の補助制度に上乘せする新たな定額補助制度を設けるとしている。これは、倒壊の恐れのある住宅の耐震化改修が、あま

答

国の制度内容を確認し創設を考えます

副町長

①当町は、耐震化改修前の耐震診断補助をH18年度から実施しています。現在までに22件の耐震

診断を行っています。

また、改修に係る費用の23%を国と町が1/2ずつ負担します。しかし、この制度が進展していないため国は上乘せ30万円、国費の上限を50万円として5年間の時限措置で補助の拡充を公表しました。制度の内容を見極め町の補助制度の創設を考えます。

②小・中学校の耐震化は、H19年度に学校施設耐震化10ヶ年計画を策定し耐震診断、耐震設計、耐震補強工事と財政状況を考慮し取り組んでいます。

耐震1次診断の結果、2次診断が必要な建物は全体で16棟、その内12棟が2次診断を終了し、残りの4棟は今年度中に調査が完了します。耐震補強設計が終了している松

前小学校校北・中学校舎、岡田中学校校舎の3棟をH22、23年度で工事を実施します。

③保育所施設等の公共施設の耐震改修は、小・中学校の耐震化のめどが立った段階で、財政状況を踏まえ計画的に実施します。

問

高齢者生活支援の事業で拡充を

①特養へ入れずやむなく居宅サービスにした場合に、高齢者の一人や二人住まいで一番困るのが家事である。

介護保険では、家事などの生活支援サービスが十分でない。当面、必要な生活支援サービスを町が実施するよう求める。

②高齢者見守り事業の実施状況は。

町が直接実施し内容の拡充を求める。

答

高齢者福祉サービスの支援を行います

健康課長

①介護保険制度で、掃除、洗濯、食事の準備など日常生活支援については一人暮らしの介護認定高齢者のほか、同居家族がいなくても家族が障害や疾病などの理由により家事を行うことが困難な場合に、介護保険サービスをj利用できます。一方、要介護状態でない独居高齢者等は、日常生活に対する支



生活支援サービスの充実を

援・指導、家事に対する支援・指導が必要な場合に高齢者福祉サービスとして、在宅生活の支援を行っています。

②高齢者見守り事業は、見守り推進員の週1回程度の安否確認等の見守りを行っています。また、民生委員や地域の方々による見守りも大切ですので情報交換など連携を図っていきます。